

1. 開会（会長あいさつ）

本日はご多忙の中、お集まりいただきありがとうございます。ただ今より第2回高浜市総合計画審議会を開会する。

2. 議題

1) 進捗状況について

会長： それでは、議題1「進捗状況」について、事務局より説明をお願いしたい。

行政： （資料「進捗状況」に基づき説明）

会長： ここまでは報告となるが、何か質問があればお願いしたい。

（質問なし）

2) 第7次高浜市総合計画策定基本方針（案）について

会長： それでは、議題2「第7次高浜市総合計画策定基本方針（案）」について、事務局より説明をお願いしたい。

行政： （参考資料1「第7次高浜市総合計画策定基本方針（案）」に基づき説明）

会長： ただ今説明のあった部分は、前回説明できなかった残りの部分となる。ここまでで、何か質問があればお願いしたい。

（質問なし）

会長： それでは、「第7次高浜市総合計画策定基本方針」について、このような原理原則をふまえて進めるということで異議はないか。

（異議なし）

会長： それでは、以後このように進めていく。

3) 施策動向調査について

会長： 続いて、議題3「施策動向調査」について。これは議題2で説明のあった「未来を見据えた視点」に非常に深く関わってくる内容かと思う。それでは、事務局より説明をお願いしたい。

行政： （参考資料2「施策動向調査」に基づき説明）

会長： 皆様よりお一人ずつご所見をいただきたいが、まず質問に限って何かあればお願いしたい。

委員： Society 5.0とはどういう意味か。

行政： 今のこの情報化社会に続く、次の社会をSociety 5.0として国が位置付けている。

会長： それでは、各委員より一言ずつ所見をお願いしたい。

委員： 翼地区について、翼小学校ができてから20年経っているが、そのころと比べると人口が増えている。外国人も増えているので、その人たちとの共生の問題も出てくる。翼地区は今のところ災害はないが、今後防災について外国人を含めてどのように考えていけばいいか。また、新興住宅も増えてきているが、そこに住む方々との絆が感じられない。第7次の総合計画ではこのあたりの課

題について組み込んでいければと思う。

委員： 10年前、南部地区は瓦工場の跡地が多かったが、今はそこに建売住宅や会社の寮が建ち、外国人も含め様々な人が増えた。また、若い人達が南部地区を出ていったため老人世帯が増えた。また、10年前は東日本大震災が起こった年だが、あの頃と比べると危機感や防災に対する意識が薄くなっている。

10年後、老人のパワーをどのように生かしていくのか。老人会等の団体で力を発揮するのもそうだが、子どもたちと老人と一緒に何かやれることを考える。そうすることで、老人の知恵が孫の世代に移っていき、今後のまちづくりの役に立つと思う。

市は昨年小中学校全生徒にタブレットを配布した。国際化に向けて活用できるようになればと考えている。

委員： 高取地区は10年前と人口は大きく変わらないが、町によっては瓦屋の跡地に住宅が建ち、若い世帯が増えている。この地区の大きな特徴としては、田畑が多いが、農業人口は減っているということ。この田畑をどう利用していくか。企業や商業施設を誘致していけば市の活性化につながるのではないかと考えている。

委員： 10年前と比べて、高浜小学校が新設されたのは大きな出来事。この地区の中心となるたかぴあができたので、上手く活用していきたい。コロナが収まれば施設の活用も活発化し、人とのつながりも発展すると思う。

更地ができたかと思えば、そこにすぐ家が建つ印象がある。ただ、そこに引っ越しされた人たちが町内会に加入するなどのつながりがないと、防犯や防災などすべてに影響が出てくる。そのあたりの絆づくりを考えていく必要がある。

委員： コロナ禍で感じた問題点として、気軽に人に会えなくなった、町で会っても立ち話しづらくなったこと、近くに住んでいる人にも会いづらくなったこと、民生委員の定例会も必要最低限の発言しかないことがあげられる。また、家にいることが多くなったことで、騒音やゴミの問題が気になるという声も入っている。

今後は外国の方も民生委員の仲間になってくれたらということ、以前から考えている。いきいき広場をもっと活用できれば。ヤングケアラー・ゲートキーパーという言葉を学校でも教え、死というものを前向きにとらえてくれれば、みんなが機嫌良く暮らせる町になると思う。

委員： 仕事柄いろいろな自治体に足を運ぶが、良い町とはどんな町なのかとよく考える。多文化共生や男女平等などの問題について、ほかの自治体を参考にするのも必要だが、高浜市らしく考えることが一番大事なかなと思う。生の意見がそのまま反映される計画が作れたらと思う。

市民会議にはこれまで行政に携わってこなかった人が参加してくれたり、高浜市に関わってこなかった人が転入して高浜市の人口を増やしていることから、市民会議や地域活動をされている方の生の声を聞くことが大事だなと感じている。

委員： 学校現場で大きく変わったのが、ICT機器が一気に導入されたこと。高浜市の場合、いつでもどこでも他者とつながることができるのはたいへん恵まれ

ている。また、市内に小中学校7校あるが、どの生徒も同じようにICTの環境があるのは非常に大きい。このことがどのような結果になるのかは今後みていくことになる。

地域の行事は、立派な大人たちと関わる良いチャンスだと思う。活動することに喜びを感じたり、高い技能を持っている大人が地域にはいる。そのような大人たちがいる場に子どもたちが関わり、子どもたちに魅力を感じさせ、引き込んでいければいいと思う。

外国籍の子供が増えている。日本語教育や適応教室、通訳の担当者がたくさん学校に入っている。地域の外国籍の大人も支援員として入ってもらっている。この子たちに高浜市に愛着をもってほしいと思っている。

委員： 4月1日現在の外国人の割合は8%。県内でもトップクラス。コロナの影響が落ち着けば、増加していくと考えられる。

外国の方々は日本人と仲良くなりたいと思っている。日本語を勉強したい、地域のコミュニティにも参加したい、自国のコミュニティにも参加したいというニーズがある。外国の方は日本が好きだが、日本人は冷たいなど感じる。そこをどうにかできないかと考えている。

課題としては、災害時のセーフティーネットが少ない、外国人の高齢化、多種多様な外国籍の子どもたちが増加、母語も日本語も話せない子供が増加し義務教育の現場で問題が起こることがあげられる。あらゆる人たちがつながりをもちながら、セーフティーネット、地域で共生できるしくみを作ることを目標に活動に取り組んでいる。

委員： 高浜の人口が増え続けている原因としては、近隣市に比べて地価がお値打ちだということがあげられる。高浜市に引っ越ししている人に、高浜市の魅力を伝えている。町内会に入ることも勧めている。

市内の空き家は増えている。建物の維持管理、都市計画において農地をどのように宅地化していくかを考える余地がある。

2023年にはたくさんの会社が倒産すると考えられる。原因としては金融機関への返済、事業者承継問題、新型コロナウイルス感染症の影響などがあげられるが、行政がそこをどう対応していくのか。

委員： 現状をしっかりと分析していると思うが、この先がみえない。

町内会等の地域の団体は、今後なくなりはないがある程度まで減少する。その代わりに、新しい団体、防災なら防災、防犯なら防犯といった小さな団体が出てくる。そのときに、どこがその団体を拾い上げるのが課題になるだろう。

ボランティアをやったことがあるという人の数がいまいち伸びていないのは、働きかけが足りないのかなと思う。イベントに一番参加してもらえるのは、子どもを巻き込んだとき。大人だけで何かをやるうとする場合、よほどリーダーシップをとる人がいないと立ち上がらない。市でリーダーを養成する研修をしているので、もっと活用していけばと思う。

第7次総合計画は、第6次と違うことをやるのか、第6次の延長なのか、それによって中身がかなり変わってくるのではないかと思う。新しい生活様式をどのように組み込むのが課題だと感じている。

委員： 第6次の延長という部分もあるが、第7次では昔ながらの結の制度を復活さ

せたい。将来的に南海トラフの地震は必ずくる。地域の絆づくりはやっ
てもらい、それに対応できるように。町内会に加入することが当たり前だと考
える市民を増やすことを目標とする。

会 長： 各委員の意見を聞き、こういう意見でグルーピングできるのではないかと
いうことをお伝えする。

新興住宅が増え、新住民が増えているが、このことに対しての施策の用意が
必要。

外国人住民の割合が高い町であるということから、単なる多文化共生ではな
く、もう1つ突っ込んで、防災に対してはどうか、防犯に対してはどうかとい
う具体的な場面でリアルな施策対応が必要。

学校現場の変化について、どのような項目を用意したらいいのか、学校当局
からの協力をお願いしたい。

高浜市の地価が手ごろだという指摘は鋭い。まだまだ人口は増えると思っ
ていい。町内会に入らなくてもいいと思っている新住民ばかり増えても仕方がな
いという問題意識が出る。町内会に入るのが当たり前という市民学習が必要
なのだとあらためて感じた。

地域のリーダーづくりなどの場を、もっと増やしていったらどうかと思
う。

趣味や自己実現の場を否定するわけではないが、楽しいことをやる一方で、
学習する仕組みをつくる必要があるのではないか。そこから気づき生まれる
のではないだろうか。

南海トラフ地震は必ず起こるという意識で防災の仕組みを作らないといけ
ないと思っている。

5. その他

会 長： 以上で本日の議題は全て終了したが、何か意見があれば事務局へ聞いてい
ただければと思う。その他、事務局から何かありましたらお願いしたい。

行 政： 1点目です。次回の審議会の日程は、少し時間が空いてしまいますが、7
月27日（火）19時を予定させていただきます。あらためて事務局より場
所等を通知いたします。

2点目は、本日の議事録につきましては、まとめ次第、委員のみなさま
へお送りして確認いただき、書面で了解を得たうえで公開させていただきます。

3点目は、お手元にあります意見シートにご意見や補足を記入していただ
きご提出いただければと思います。アンケートのご回答もお願いします。ま
た、本日も欠席された委員の方からご意見をいただいておりますので、後日
皆様に回覧させていただきます。

会 長： これをもって、第2回高浜市総合計画審議会を終了する。お疲れ様でした。